

同一疾患における実臨床データと臨床試験データとの
薬剤経済比較妥当性に関する疫学研究
博士課程4年 林 行和

【概要】

薬剤経済評価を実施するには、ある程度の症例数が必要となるが、稀少疾患においては、臨床開発時に薬剤経済評価を実施するのに十分な症例数が確保しづらい。そこで、本研究では、稀少疾患において、臨床試験データと実臨床データを用いることで、薬剤経済の評価が可能かどうかを検討した。

費用への影響が大きい要因として、当該の医薬品以外の医薬品投薬費用に関して、薬効分類により使用目的を分類し、費用算段の数理モデル化を実現できるかどうかの検討状況を紹介する。